

4 スポーツ・レクリエーション系施設

(1) 概要

① スポーツ施設

スポーツ・レクリエーション系施設のうち、スポーツ施設は12施設で、総延床面積10,143㎡となっています。

旧耐震基準に基づく施設のうち、柔道場及び工芸場を除く施設は、耐震診断が実施されており、診断結果に基づき、東多久社会体育館は、耐震改修工事も実施されています。



西多久社会体育館



体育センター

② レクリエーション・観光施設

スポーツ・レクリエーション系施設のうち、レクリエーション・観光施設は6施設で、総延床面積18,925.9㎡となっています。

レクリエーション・観光施設はいずれも新耐震基準に基づく建物となっています。



物産館



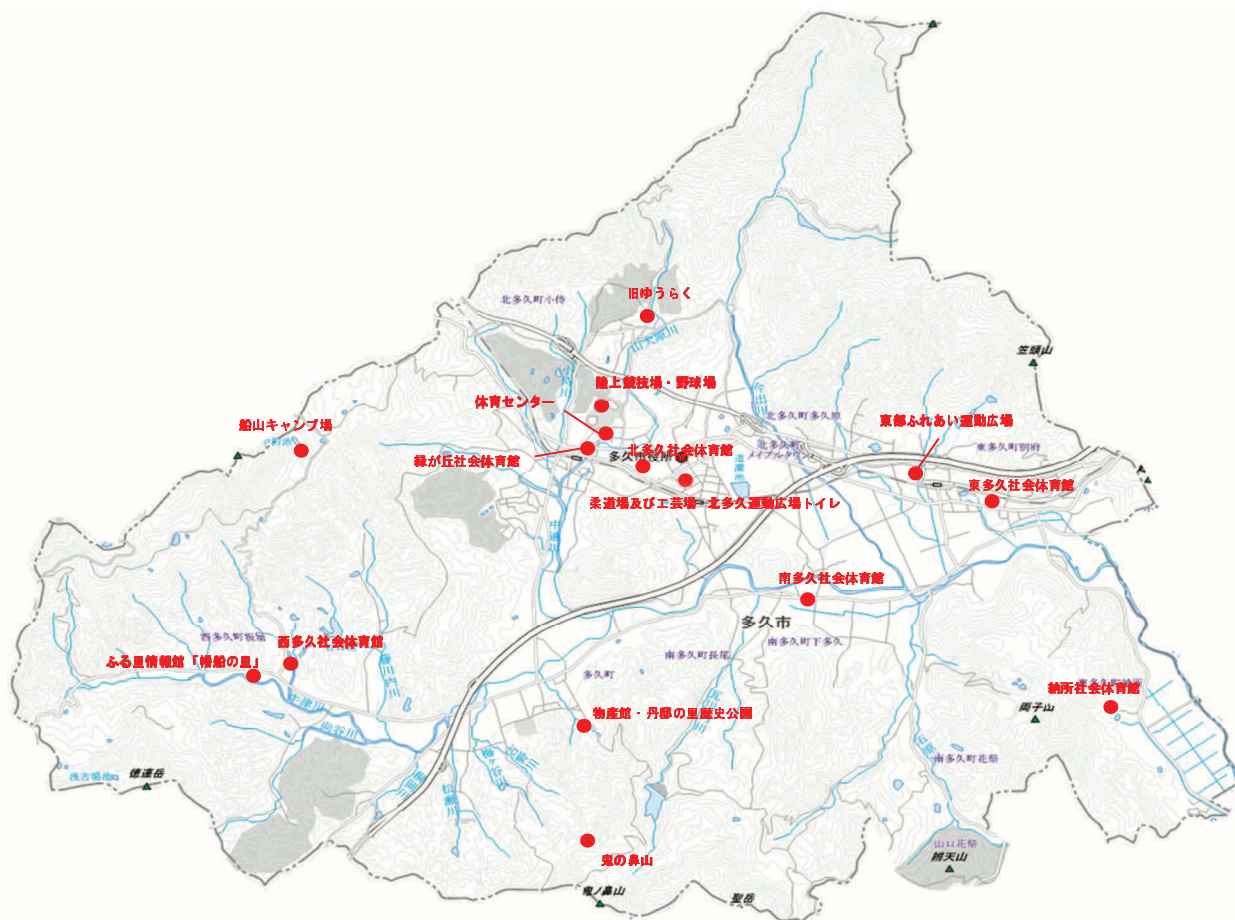
幡船の里

(2) 施設一覧

施設名	延床面積 (㎡)	竣工年度	構造
東多久社会体育館	802	1972	S造
納所社会体育館	645	1973・1977	S造・W造
南多久社会体育館	1,302	1993	RC造
西多久社会体育館	746	1979	S造
緑が丘社会体育館	1,493	1990・1997	RC造・W造
北多久社会体育館	1,964	2007	RC造
体育センター	1,876	1973・2004	S造
陸上競技場	386	1973・2002	RC造
野球場	514	1979・2003	RC造
北多久運動広場トイレ	52	1992・2010	RC造・CB造
船山キャンプ場	89	1986・1987	CB造・W造
東部ふれあい運動広場	31	1999	W造
柔道場及び工芸場	332	1960	CB造
物産館	550	1993・1999	S造・W造
ふるさと情報館「幡船の里」	170	2001	W造
鬼の鼻山	203	1984	CB造・W造
丹邨の里歴史公園	137	1989～1991	W造
旧ゆうらく	17,7767	2012	RC造・S造・CB造・W造

※「旧ゆうらく」の竣工年度は取得年度を記載

(3) 施設の配置状況



(4) 今後の基本的な方針

スポーツ施設のうち、6施設は、閉校した小学校の体育館を社会体育館として利用しています。これらの施設のうち、旧耐震基準に基づく施設は、耐震診断を実施し、診断結果に応じて耐震改修工事も実施しています。スポーツ施設は、北多久社会体育館を除き、築後20年以上経過しており、計画期間内に施設の更新費が必要となってくることから、計画的な改修、修繕を実施しながら、施設の長寿命化を図っていきます。

レクリエーション系施設のうち、「旧ゆらく」については、平成28年度に運営事業者が決定し、今後は、宿泊施設を併設する温泉保養施設として平成29年内の開業を目指して準備を進めています。